



だんごさげ（ひがしね保育園）

議会だより しらたか

12月定例議会

役場庁舎は危険性の高い建物ではない … 7・8p

Vol.113

2012. 1.23

(平成24年)

・放射線量の値は人体に影響なし …… 3p

・公共施設整備基金元金に5000万円積立 …… 4p

・町への質問・提言（2議員が一般質問）…… 5～6p

白鷹町立東中学校



昭和46年度開校

〈校章に込められた願い〉

1. 3校統合の意義を十分に考えて、3つの白鷹山、3枚の鷹の羽を合わせ、中心の和（輪）に集中させた。
2. 全体の形は、逆三角形であり、永遠に伸び行く姿を表した。
3. 色彩は清楚な（地域にそって）純朴な色彩で表し、和（輪）の色はとくに情熱を表した。

白い校舎、緑の松、それらすべてにリズムがある。生活の中にもリズムがある。調和のとれたリズムがある。素晴らしいリズムを受け継ぎながら新しいリズムを創造していかなければならない。

これぞ校是「協力」と「創造」であろう。東中学校のシンボルである校章のもと、東中健児が大いに活躍することを期待するものである。

〈校章に込められた願い〉

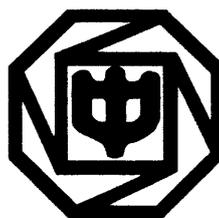
公募の基本として提示したことは、

- ① 西中の文字を使用すること。
- ② 新生統合中学校のビジョンを象徴することでした。

当時3年生であった、佐藤ひで子さんの作が選り出され、自作の下に次の4点を述べている。

1. 西中学校のイニシャルをN四箇と『中』を組み合わせた。
2. 4つのNは真実・自由・平和・健康をあらわした。
3. 4つのNを結ぶ斜線は旧2校を結ぶ和を。
4. 中央の『中』は上にのびようとする感情をあらわし、限りない発展を希ったのである。

白鷹町立西中学校



昭和41年度開校

● 定例議会は、12月8日から16日までの9日間の会期で開かれました。

● 本会議に提出された議案は、

- ① 白鷹町特別職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
 - ② 23年度各会計補正予算
- などですが、審議の結果、原案のとおり可決しました。

● 一般質問には2名の議員が、町の農業振興、消防団員服務規律や防災体制の課題などに論戦を展開しました。

● 最終日、東西中学校を統合し平成27年4月に現在の東中学校の位置に開校をめざすとの行政報告がありました。

統合中学校が平成27年4月開校

行政報告

東日本大震災関連の対応

放射線量の調査では、平成23年9月に購入した測定器で学校・保育園・地区公民館など19の公共施設を定期的に測定しています。測定結果は、人体に影響のある値ではありません。

また、周辺より放射線量が高い箇所での測定は、各施設の定期的な測定時に何らかの異常があった場合に

実施したいと考えています。水道水は、おおむね週1回、津島台浄水場の浄水を検査していますが、放射性ヨウ素・セシウムとも不検出です。

今後も放射線量の測定を定期的に行い随時公表していきます。

(結果は、町のホームページでお知らせしています。)



町が購入した放射線測定機器

町内の景況と雇用情勢

経済状況は、小ロット・短納期による受注、原材料の高騰、急激な円高による収益悪化などで、全般的に依然として厳しい状態が続いています。

雇用情勢では、11月25日

現在の荒砥高校3年生の就

職内定率は64・1%(前年同月比マイナス11・8ポイント)で、厳しい状況にあります。

小・中学校の再編整備

平成23年9月から10月にかけて地区ごとに学校再編地区説明会、11月にまちづくりミーティングを各地区で開催し、町民の皆様のご意見を伺いました。

その結果、これまでの経過や教育委員会の基本的な考えを尊重し、「小学校は、当面は統合せず、今後の出生数の状況を見て改めて検討します。なお、複式学級のある学校は、地域の方々の協議により再編をすすめていきます。中学校は、東・西中学校を統合し新た

な中学校として、平成27年4月に現在の東中学校の位置に開校をめざします。」との行政報告がありました。



東中学校生の通学風景

一般
会計

公共施設整備
基金元金の積立
などに

1450万円を追加補正

総額75億2730万円となる

補正の主なもの

- 一般会計補正予算の主なものは、
公共施設整備基金元金の積立
- 障害福祉サービス費
- 高齢者世帯雪下ろし費支給事業
- 保育園費（運営委託料）
- 浅立地区経営体育成基盤整備事業負担金
- 堆肥等有機性資源利用促進事業補助金

5000万円	1015万円	40万円	1162万円	900万円	▲125万円
--------	--------	------	--------	-------	--------

● 財源は町税、繰越金などで対応します。

質 疑

■公共施設整備基金
積立に5000万円

議員 公共施設整備基金が1億1396万円程あります。いろいろな基金があるなかで、なぜ今5000万円を積み立てるのですか。
当局 東日本大震災を経験したなかで、町の公共施設などの維持や修繕、改修の時期をふまえ、行政としての目的を明示し積み立てるものです。

議員 公共施設整備基金は特定の支出目的があるのではないですか。町民の皆さんにわかるように、ていねいな説明が必要ではないですか。
当局 公共施設とは、学校・保育園・公民館や道路・橋などで、役場庁舎は『公用施設』になりますので、支出目的には含みません。厳しい財政のなかで積み立てることは、町民に対して具体的にきちんとした説明が必要と考えています。

平成23年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		1450万円	75億2730万円
特別会計	下水道	537万円	5億4358万円
	農業集落排水	160万円	1億5325万円
企業会計	訪問看護	収益的支出 △3万円	3267万円
		資本的支出 221万円	371万円
水	水道	収益的支出 △4万円	2億9696万円



築48年の白鷹町役場

* 万円未満は端数を整理しています。

表彰

おめでとうございます



総務大臣感謝状
(議員在職35年以上)
五十嵐政司 前議員

条例

新しくなること

「体育指導委員」は「スポーツ推進委員」に変更となりました。
スポーツ基本法の施行により「体育指導委員」は「スポーツ推進委員」へ名称が変更となりました。
スポーツ推進委員とはスポーツ基本法に基づき、教育委員会から委嘱された非常勤職で、スポーツの実技指導とスポーツに関する指導・助言を行うとともに町民と行政を結ぶスポーツコーディネーターとしての役割を担っています。現在スポーツ推進委員は18名で町の地域スポーツ推進を目的にさまざまな活動を行っています。



山田 仁議員 町民参加型の農業後継者組織を つくっては

町長 地権者を含めた 組織の模索は斬新だ

■ TPP交渉の影響は

山田 政府はTPP交渉参加の準備に入りましたが、当町への影響をどのように考えますか。

町長 産業によってはプラス、マイナスの両面が生じます。農業分野が貿易自由化に最も影響を受けやすいのは、当町も例外ではありません。

TPP交渉の本身が不透明ゆえに、あらゆる産業への影響を明らかにし、政府が対策を明確に打ち出すまで慎重に検討すべきと考えます。

■ 農業のもつ他面的機能への施策は

山田 農業のもつ他面的機能を活かすために、当町はどのような施策を行いますか。

町長 中山間地の耕作放棄地の増加が、その機能の低下を招くと危惧します。当町としては、田畑の基盤整備、農道・水路整備、防災機能の観点からの、ため池整備、加工・直売所施

設整備など幅広く事業を実施していく考えです。

■ 耕作放棄地の対策は

山田 耕作放棄地が町内で68畝の内、特に蚕桑・十王で63%を占めています。この20年間で生産額が半減しています。具体的に手を入れるべきではないですか。

産業振興課長 同地区は、養蚕・特用作物（こんにゃく・ホップ・たばこなど）の衰退と関連しています。この地区に限らず、農地として活用できるところから振興していきたいと考えています。

■ 畑作振興の方策は

山田 当町にとって畑作振興は、不可欠です。その際複数年型振興奨励措置、旗振り役が存在、価格安定基金の活用などが必要と考えますがどうですか。

町長 先進地例のようにはいかなくても、地域あるいは集落で農業を考えた場合町としても支援は、当然行っています。

■ 農業活性化センターの充実

山田 農業者にとって、相談窓口として「農業活性化センター」の充実、期待が大きいのと思います。今後の取り組みへの考え方を伺います。

町長 平成20年度から運営していますが、充実が必要であるとの認識で、引き続き取り組んでいきます。

■ 農業担い手対策は

山田 新規の農業担い手の確保には、効果的対策が必要と思いますが、どうですか。

町長 当町の単独事業として新規就農者支援事業を行っています。町外からの受け入れのための家賃補助、県農業大学校入学者への授業料補助、研修資金、就農準備資金などの支援を実施しています。

山田 地権者・やる気のある人（出資者）・町民参加型の「白鷹式法人組織」で後継者組織をつくってはどうか。

町長 地権者を含めた「後継者組織」の模索は斬新だと思います。農業活性化センターを核に支援を行っていきます。



施設園芸に取り組む担い手



小口尚司議員

災害現場の初動段階で消防団員が
最初に成すべきことは

町長 自分自身の身を守ることを

第一義に行動して欲しい

■消防団員の服務 (仕事・役割)の範囲は

小口 当町の消防団の組織力と団員の消防活動に対する意識は非常に高いです。3・11の東日本大震災を受けて、火災をはじめとするあらゆる災害時の消防団員の服務の範囲について伺います。

町長 消防組織法に基づいた服務により、被害軽減のためご尽力いただくものです。

■初動段階で 優先することは

小口 条例が定められているなかで、現場本部・災害対策本部が設置される前の初動段階での、消防団員の

行動について確認します。

町長 団員それぞれの安全確保が一番で、団員の方々が自分の身を守ることを第一義にしていたいただきたいと考えます。

■「白鷹町消防団条例」の 見直しの必要性

小口 条例は、一般的に自分を犠牲にしてまで消防活動を優先するような条文です。今後、防災計画と整合性をはかる上でも、条例の見直しが必要と思いますが町長の考え方を伺います。

町長 団員の安全と町民の安心安全を確保しながら、少し時間をいただきたいなかで検討していきます。

■消防団員の 情報収集手段は

小口 現在、部長以上が受信機を持ち情報収集をしています。その情報を受けた団員がどのような行動をとっているか把握できない状況ですが、その対応についてお聞きします。

総務課長 相互の通信情報が可能な、例えばトランシーバーの配備を、消防団やそれ以外の組織にも対応し、町全体の情報の相互確認ができるように準備をすすめています。

■地域防災組織との 連携のあり方は

小口 阪神・淡路大震災で被害を受けた自治体では、

自助(自分の安全は自分で守る) 互助(地域の安全は地域で守る)の重要性を防災計画に反映しています。

今後当町でも防災計画に活かすべきだと思えますがどうですか。

町長 まずは、地域の皆様方に防災計画の理念と、自らとる行動について理解していただかなければならないと思っています。

■消防団・地域・町が バランス良く役割を 果たせる環境づくりは

小口 消防団員の平均年齢は32・2歳です。消防団員が安全な消防活動ができ、防災計画のもと、「自助」「共



消防団員の訓練風景

助」「公助」がバランス良く役割を果たせるような環境づくりが必要と思いますが、町長の考えを伺います。

町長 意識の高い消防団員のモチベーションを維持しながら、町民の皆様方の安心安全の確保の最前線で頑張っていただける環境づくりに努めていきます。

総務厚生 役場庁舎は危険性が高い建物ではない

12月12日に本委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

①白鷹町振興実施計画（中間報告）

②白鷹町国土利用計画（中間報告）

③役場庁舎の耐震診断結果

④まちづくりミーティングの状況

⑤白鷹町国民健康保険の現状等

⑥小規模特別養護老人ホーム等（マイスカイ中山）の整備状況

⑦その他

行財政改革の推進について説明を受けました。また、元中山小学校跡に整備をすすめている小規模特別養護老人ホーム等（マイスカイ中山）の現地調査を行いました。



現地調査（マイスカイ中山）

役場庁舎の耐震診断結果によれば、至急に取り壊し及び補強工事をしなければならぬとする危険性が高い建物ではないとの判断結果が報告されました。今後は中長期の視点で庁舎機能を含めた総合的な配置計画整備計画を検討するなかで、耐震化については判断の必要があるとの説明を受けました。

白鷹町振興実施計画（中間報告）

議員 白鷹町育成事業で、選ばれた団体の事業内容と24年度も公募するのか伺います。

当局 一団体は、町内でさまざまなことをやりたいという人達を応援するものです。もう一団体は、お祭りなどの参加者を増やすためにインターネットなどで情報交換をしていくもので、具体的にはホームページを立ち上げるものです。

この事業は、過疎債のソフト事業として、3カ年継続して行うものです。

議員 6次産業化を来年度どうすすめますか。

当局 産業センターに人を配置します。連携事業をやりたい方に2分の1、50万円程度の補助金を支給したいと考えています。

議員 後継者対策事業（婚活）の効果を伺います。

当局 昭和55年頃からすすめてきており、多いときで年間5組の成立がありました。

議員 四季の郷地内の保留地を若者定住のために、補助金をアップする考えはありますか。

りませんか。
当局 24年度、一年かけて状況も踏まえて検討していきます。

議員 人工透析患者通院費用助成事業で、透析を町立病院でできるようにする考えはないですか。

当局 病院建設時にも検討はしました。

長井市立病院に透析ができる設備を設置してあるので使用して欲しいとのこと、当町としてはタクシードの助成をしてきました。

白鷹町国土利用計画（中間報告）

議員 析産地区は電気も通っており、何人かは夏場の森林管理などを行っているようですが、当地区への考え方を伺います。

当局 農地を山林に地目変換もしているの、森林生産ゾーンにしたいと思えます。

議員 国土利用計画で、農

地と宅地が複雑に絡み合っているということがありますが、農地法上の調整はどう考えたのですか。

当局 住民に規制を与えるものはありません。町として大きなフレームで10年間の国土計画をたてるもので、細かい箇所はこの計画では想定していません。



役場庁舎の耐震診断結果

議員 耐震診断結果ができましたが、今後のスケジュールを伺います。

当局 災害対応も含めた庁舎全体の機能を検討する必要がありますが、財源がないので、全面的に早急にというのは不可能と考えています。中長期的ななかで、配置や順番を検討したいと考えています。

議員 検討課題の結論は、いつごろまでに最終判断をするのですか。

当局 全体の配置計画になるので、24年度中には全体の構想をつくりたいと思っています。



マイスカイ中山の施設平面図

主な質疑

マイスカイ中山の整備状況

議員 一月末の完成と聞いていましたが、非常に遅れているようですが、どのように思いますか。

当局 一月末完成の努力と建物完成後の備品搬入スケジュールを考えながら4月1日開所を、法人に要望していきます。

まちづくりミーティングの状況

議員 出席者が少なく、どの程度の民意が出されたのか心配ですが、どのように思いますか。

当局 担当課長も出席して、その場で解決できるものを持ち帰り検討するもの、長期的視点でまちづくりに活かしていくものとを区別し取り組みました。今後も、出席者が多くなるように周知徹底していきます。

議員 出席者が少なく、どの程度の民意が出されたのか心配ですが、どのように思いますか。

当局 担当課長も出席して、その場で解決できるものを持ち帰り検討するもの、長期的視点でまちづくりに活

大規模養豚場悪臭問題特別委員会

臭気測定を実施

12月16日に委員会が開催され、悪臭の現状について当局から説明がありました。主な報告は、

- ① 悪臭軽減の取り組みとして、事業者が長井市で開業している動物病院の獣医師の指導を受けていること
- ② 10月24日から11月7日まで、臭気測定を実施したこと
- ③ 4月1日から12月14日までの苦情件数は53件で、現地確認は31件
- ④ 10月21日付で中部6町内長他から、公害防止協定の締結を再検討してほしいこと、悪臭防止法を適用する地域指定にするため県との話し合いを望んでいること、地域住民の公害対策活動に町の助成を求めるなどの要望があったとのことでした。

産建文教 除雪車運行管理システムで除雪スタート

12月14日に本委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

- ① アルカディア財団の経営改善計画
- ② 生涯学習振興計画（中間報告）
- ③ 図書館、中央公民館整備検討報告
- ④ 東陽の里公園グラウンド整備計画
- ⑤ 学校再編地区説明会の状況
- ⑥ 町史編さん事業の状況
- ⑦ 町道赤坂深山線道路改良工事の整備状況
- ⑧ その他
 - ・ 除雪システム
 - ・ 荒砥橋の整備
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの運営体制

この説明がありました。その後、現地調査を行いました。

除雪計画の経過に関し、次のような報告がありました。

- ① 平成23年9月27日にNDソフトウェア(株)と除雪車運行管理システムの長期継続賃貸借契約（4年間）を締結しました。契約金額は、1カ年分で約303万円です。
- ② 12月10日に、トラブルが発生しました。原因は、システムの改善内容が業者のスマートフォンに反映されていない、オペレーターのスマートフォン操作ミス、限定された場所での特定の時間帯に不具合が発生、原因不明の通信障害施設があるなどです。
- ③ 不具合による稼働時間は手修正で対応し業者への支払いに影響はありません。

(財)白鷹町アルカディア財団経営改善計画

議員 当局は、アルカディア財団から提出された経営改善計画を了解したのですか。

当局 3年間で経営の立て直しをするという部分は、作成段階で相談を受けており尊重して対応したいと思えます。

議員 町から財団へ出金（寄附行為）した金額はどうなりますか。

当局 やめた場合、出金は戻りませんが、一般法人への移行で第三セクターの法人であることから行政が関与することになります。

議員 今後、アルカディア財団に対してはどのような支援をしていくのですか。

当局 アルカディア財団の経営のあり方が示されたなかで、対応していきます。

主な質疑



現地調査（深山橋）



パレス松風

主な質疑



東根地区公民館の旧館（玄関）

東陽の里公園グラウンド整備計画

議員 グラウンド整備の他に、クラブハウス整備と旧棟の改修とありますが、どういう配置になりますか。

当局 東根地区公民館・旧館の玄関の左右の内装や、左の部屋を改修するなど、約250万円を予定しています。

議員 長井市でも同じ計画があると聞きますが、同じ方式ですか。

当局 当町は人工芝で、長井市では天然芝でということですが、大きな大会は近隣とも連携をとり役割分担していきたいと思っています。

生涯学習振興計画（中間報告）

議員 社会教育主事の育成が重要だと思えますが、現在の状況はどうですか。

当局 有資格者の職員は配置されていますが、社会教育主事の育成が計画通りすすみませんでした。

議員 学芸員の配置が計画にあります。考え方を伺います。

当局 過去に発掘調査がありました。資格を有する職員がいると違うと思えます。

学校再編地区説明会の状況

議員 部活時の子どもの送迎は保護者の負担になると思いますが、現状と統合後の考え方を伺います。

当局 土・日は自分で رفتり保護者の送迎です。統合後は、西中学校区はバス通学を考えています。土・日や夏休み、自転車通学を何キロまで認めるかや部活

議員 暗い夜道を自転車通学している生徒もいます。防犯上、平日もスクールバスで対応しないと、祖父母が送迎しなければなりません。デメリットにならないようにと考えますがどうですか。

当局 どこまでが行政サービスなのか、喜んでいただける統合になるように努力をしています。



授業風景（東中学校）



研修視察（長野県原村）

議員研修 報告

特産品開発を

先進地に学ぶ

9月28日から30日の日程で、全議員が参加し、長野県八ヶ岳中央農業実践대학교、原村、川上村を視察研修しました。

八ヶ岳中央農業実践대학교は、「土地を耕し、心を耕す」をモットーに「安心・安全な商品」を生産、販売まで行う6次産業化を現実的なものとしていました。学校を卒業した方々は、学んだノーハウを全国いたるところで実践しているとのことでした。

原村と川上村では、栽培しているものは「セロリ」と「レタス」との違いはあっても、それぞれ日本の生産量を誇っていました。両村とも高地の冷涼な気候条件を逆手にとり、産地ブランド化を成し遂げた先進地でした。

当町にあつては、多種多様な農産物が栽培されていますが、ブランド化に向けての作物や数量の確保をどうしていくかなどの課題があります。6次産業化については、個人やグループなどで様々な取り組みを行っています。付加価値をつけて販売するときのマーケティングなども含め、こちらも課題があると思います。

今後、本議会も行政と連携をはかりながら、ブランド化や6次産業化に取り組んでいるグループや農業団体などへ、どのような支援が出来るのか検討していく必要があると感じたところです。



研修視察（埼玉県ときがわ町）

議会運営委員会

議会運営と議会活性化を学ぶ

10月13日から14日の日程で委員及び議長の7名が参加し、埼玉県ときがわ町及び福島県津美里町での研修を行いました。

ときがわ町議会では、「議会や議員は何をなすべきか、どうあるべきか」を議論しながら、議会や議員の倫理を含んだ基本条例を制定し、その制定の趣旨や条文ごとの解説を載せたリーフレットを町内全戸に配布したとのことでした。

会津美里町議会では、議会自ら提唱する「学習する議会・開かれた議会・行動する議会」の実現に向けて、当局への行財政改革推進に関する提言書の提出や町の課題に対する議員それぞれの自由討議の公開など、議会運営改革を推進していました。

このたびの研修では、両町議会ともに合併を経験し、議員定数や議会活性化策への調査研究を徹底的に行い、民意が求める議会基本条例の制定や議会の活性化策を築きあげたことなどに多くを学びました。

本議会においても、議会としての政策提言や、倫理条例の制定、町長への反問権の確保など、求められる議会のあり方を推進してきました。

研修の成果を本議会の活性化に資するとともに、改めて、議会基本条例の制定や議員同士の討議など、求められる地方分権改革の受け皿足り得る議会として、町民の皆様の負託に応えるべく、更なる調査研究とその実現に努めていきます。

追跡

— あの質問のゆくえ —

意識改革が必要

「協働のまちづくり条例」を制定した町は、まちづくりには職員の意識を変えるべきと思うがどうですか。

平成19年12月定例議会

町長答弁

成熟化に取り組む

協働のまちづくりは、町民を巻き込んだ自治の総合力であり、政策の展開のなかでプロセスを大切に職員の意識改革を含め、成熟化に取り組みます。

どうなった



職員による除雪ボランティア

職員の意識に変化

社会の変化に適応し、町民ニーズをふまえた仕事ができる職員をめざした人材育成基本方針に基づき、職員研修などを通して職員の意識改革に取り組んでいます。

例えば、若手職員による民間事業所での現場研修では、経営感覚やお客様の立場に立った対応の仕方などを学び、町民目線の考え方ができる職員の育成をすすめてきました。

最近では、職員有志による高齢者世帯の除雪ボランティアや接客態度の向上などで評価していただけるようになり、職員の意識も少しずつ変わってきています。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局(表紙参照)までお寄せください。



新春百人一首かるた大会
(鷹山地区公民館)

町民の声

初日の一般質問を傍聴しました。この度は、傍聴者がいつもより少なかったです。一般質問する議員が少ないからでしょうか。一期目の議員2名の質問者でしたが、ぜひ先輩議員にも頑張してほしいと思います。

町のことに関心を持って意見を言う人は少ないかもしれません。しかし、議会をインターネットで傍聴する人もいます。町民は、議会に関心を持って見ているということをお忘れしないで、議会活動をしてほしいと思います。

(70代 男性)

編集後記



あけましておめでとうございます。大震災で被災された皆様が一日も早く安心して暮らせまうに心からお祈りいたします。

昨年の世相を表す漢字一文字は「絆」でした。人々の支え合い、助け合い、普通と思っていたことの大切さ、人の優しさを感じた一年でした。

日本経済は、震災、円高、など先行き不透明感があり国の予算編成は危機的状況です。

当町におきましては、子育て支援拠点施設の着工、元中山小学校が地域密着型小規模特別養護老人ホーム「マイスカイ中山」として4月にオープンします。また現在アルカディア財団の「一般財団法人」への移行を前提に経営改善計画書が示されています。

町民は何を求めているか、町で何が一番問題か、町民の皆様の声を大切にしながらかりやすい議会報づくりに一同努力する所存です。

今ある町の資源、人、文化を財産として、人と人との絆をより大切にしたいものです。
(新野)

発行責任者・議長
青木 彰 榮

広報委員

委員長 **千鶴子**

副委員長・編集長 **山田 仁**

委員 **樋口与一朗**

委員 **田中 孝**

委員 **新野いく子**

印刷・長谷川印刷